



導入事例 TQ-Reporter

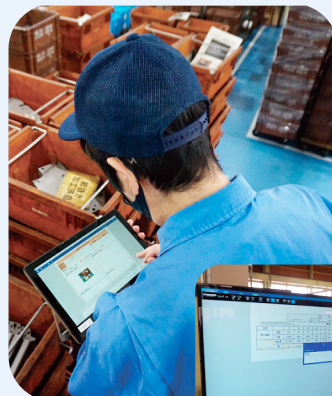
月間約4,000枚のペーパーレス化に成功!

株式会社有川製作所 様

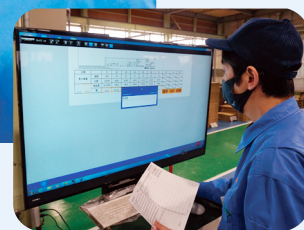
(所在地：石川県河北郡津幡町)

株式会社有川製作所様は、金属プレス金型の設計・製作、金属プレス加工製品の製造を行っており、創業から培ってきた金型設計力とプレス加工の技術力による、お客様のニーズに添った提案を強みとされています。

今回は、図面や工程検査シートをTQ-Reporterを用いてペーパーレス化し、紙の印刷枚数や作業時間を削減した事例について、生産管理ご担当高橋様にお話を伺いました。(以下、敬称略)



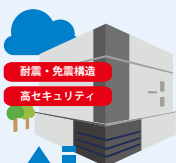
PCやタブレットでの入力の様子



Solution

TQ - Reporter

製造日報や報告書など
日頃使いなれている紙帳票を
"そのまま"電子帳票に。



入力

参照

承認



HCSの『**鍵データセンター**』を使った安心運用!



地元ならではの顔の見えるサービス!



帳票画面の設計がカンタン!



現場で簡単にミスなく入力できる



様々な現場の帳票運用に対応!



初期費用：50,000円
月額費用：7,000円～

プリンタ消耗品
事務用品の購入は

Net23

が便利です

<https://www.coworco.com/hcs>

取り組みの経緯を教えてください。

高橋：毎月約4,000枚の図面や工程検査シートを印刷していました。作業指示書ごとにホッチキスで留めたり、過去の情報を探したりするのも大変でした。以前から紙の大量印刷によるコストや環境資源の無駄遣いを課題と捉えていたので、まずは「工程検査」のペーパーレス化に取り組み始めました。

導入の決め手を教えてください。

高橋：『TQ-Reporter』を使えば、見た目を変えずに紙の工程検査シートを電子化できます。さらに、PCやタブレットから検査結果を入力できるので、現場に負担をかけずに始められると感じたことが決め手でした。

導入してみてもいいですか？

高橋：図面や工程検査シートを電子化し、作業指示書の製番バーコードを読み取ることでPCやタブレット画面に表示しています。その結果、約4,000枚あった毎月の印刷物を全て無くすることができました。過去の工程検査シートを探す際も、製番で簡単に検索できるので手間がかかりません。

また、電子化した工程検査シートに検査結果を入力すれば、検査成績書といった関連書類をボタン1つで作成～印刷できるので便利

です。以前は煩わしかったExcelへの転記もなくなりました。

運用は、抵抗なく現場に馴染んでいますね。以前から現場では生産管理システムに実績を入力していたので、PCでの入力作業には慣れていました。既存の生産管理システムにメニューを1つ追加した感覚で、『TQ-Reporter』を使っています。

今後の展望を教えてください。

高橋：不具合報告、設備点検記録、安全パトロールなど、工程検査以外の手書き書類もペーパーレス化を進めています。また今後はRPAを活用し、生産管理システム上の受注データを『TQ-Reporter』に自動で取り込む仕組みを構築する予定です。

貴重なお話ありがとうございました。



こんな創り方もできるんだ

株式会社有川製作所

〒929-0447 石川県河北郡津幡町旭山7番地
TEL 076-288-4710 / FAX 076-288-4711



セミナー 倉庫管理セミナー

食品・倉庫・機械・薬品・アパレルなど、モノを扱う全ての企業様必見!

ニューノーマル時代の物流のあり方が分かる!

講師は、これまで3,000社以上の倉庫現場を提案・改善した「頼れる物流の専門家」



大橋 一朗 氏

株式会社フレックスシステムファーム 代表取締役

基幹系や物流システムの開発経験を経て、長年物流の運用改善を支援。食品・倉庫・機械・薬品・アパレルなど、3,000社以上の物流倉庫を提案・改善した豊富な経験により、投資対効果を重視した解決策の提案を得意とされています。お客さまからの信頼も厚く、コロナ禍の今も、物流に課題をお持ちの企業から相談が絶えません。

開催日時

福井 6月10日(木) 14:00~

富山 6月11日(金) 10:00~

金沢 6月11日(金) 14:00~

※ 福井・富山は、会場/オンラインの同時開催
※ 金沢は会場開催のみ

事前アンケートにご協力ください

皆さまのお役に立つセミナー内容とするため、お申し込みの際に、倉庫内・工場内物流に関する「貴社のお困りごと」「セミナーに期待されること」などをお聞かせください。

≫ お申し込みはこちら

セミナー

補助金活用セミナーを開催しました



4月にセミナーを開催し、IT関連の補助金や身近なDXについてご紹介しました。会場/オンラインともに、多くの皆さまにご参加いただき、ありがとうございました。

HCS初!ライブ配信に挑戦

今回、専用機材の購入～映像配信までプロに支援してもらい、ライブ配信の運用ノウハウを習得しました。



HCSのよこがお

システム本部システム推進室 室長 部長

はしだ むねひさ

橋田 宗久 さん

Q. 4月に新設された「システム推進室」。

今後の活動や目指すところは?

弊社には複数の部署があり、金融業から流通業、製造業など様々な業種のお客様にサービスをご提供しています。

システム推進室は各部署間の情報共有やノウハウの交換を行うパイプ役として新設しました。部署間の繋がりを強化すること

で相乗効果を発揮し、新たな視点からお客様にとって付加価値の高いサービスや最適なソリューションの創出を目指します。

Q. 趣味は?

自転車です。特に自転車で山を登る「ヒルクライム」を好んで行っています。これまで「富士ヒルクライム」「乗鞍ヒルクライム」などの大会にも出場しました。時には、



「乗鞍ヒルクライム」の様子

標高 2,000m を超える地点まで登るので、とても苦しいですが、登り切った達成感と峠から見える景色は最高です。

編集後記

新緑が美しい季節となり、晴れの日には外出したくなりますね。今年もコロナ禍が続き残念ですが、3密を回避しながら上手に楽しく過ごしたいものです。

さて、4月に開催した補助金活用セミナーでは、HCS で初めてライブ配信を行いました。その際に富山県の映像制作会社様にサポートしていただきましたが、この企業様には驚くべき実績がありました。最近話題になっている若手音楽ユニットのライブ配信や、一流歌手のYouTube チャンネル制作を手がけたそうです。そのような企業のサポートがあり、とても心強く感じます。今回吸収したノウハウを使い皆さまにより役立つセミナーを発信していきます。(まつお)

皆さまの「知りたいコト」をお聞かせください

より役立つ情報掲載のため、皆さまの「気になる」「知りたい」コト、掲載記事のご感想などをぜひお聞かせください。

≫ 『HCS NewsLetter ご意見箱』への投稿はこちら

全カパートナー



北陸コンピュータ・サービス株式会社

NewsLetter 編集室

TEL : (076)495-9824 HP : https://www.hcs.co.jp/